

政府電子調達(GEPS) 操作マニュアル

トラブルシューティング編

もくじ

も<じ	1
本マニュアルについて	2
1. 利用者環境トラブルシューティング	3
1.1 エラー画面	3
現象:「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」	
が表示される	3
現象:[CLIENT-ERR-EXT-00102]が表示される	4
現象:「セキュリティ警告」画面が表示される	4
現象:[CLIENT-ERR-EXE-0033]が表示される	5
現象:[CLIENT-ERR-EXE-0043]が表示される	5
現象:「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示される	6
現象:「サーバとの接続に失敗しました。」が表示される	7
現象:「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される	9
1.2 "core_relay_sys.log"を確認する1	2
現象:「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの	
一部ではありません。」と記載されている場合	2
現象:「アクセスが拒否されました。」と記載されている場合	4
1.3 ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアする	5
1.3.1 Microsoft Edge のキャッシュおよび Cookie をクリアする1	5
1.3.2 Google Chrome のキャッシュおよび Cookie をクリアする1	6
2. メッセージー覧1	8
2.1 通知メッセージ	8
2.2 エラーメッセージ1	8
改訂履歴	0

本マニュアルについて

政府電子調達(GEPS)を利用する事業者向けのマニュアルです。

政府電子調達(GEPS)の利用者環境に関係するトラブルシューティングと、システムが表示する通常メッセージやエラ ーメッセージについて説明しています。

1. 利用者環境トラブルシューティング

1.1 エラー画面

電子調達システム用プログラムをインストール中または起動したときに表示される、警告画面やエラーメッセージの対処 方法を説明します。

現象:「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」が表示される

「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」が表示される。



■ 原因

次の原因が考えられます。

- 拡張機能のインストールが完了していない
- 拡張機能が有効になっていない

対処方法

使用するパソコンに、拡張機能がインストールされているか確認してください。また、拡張機能の状態が「有効」になっているかも確認してください。

詳しくは、調達ポータル操作マニュアル『セットアップ編』の「ブラウザーの設定をする」を参照してください。

現象:[CLIENT-ERR-EXT-00102]が表示される

「[CLIENT-ERR-EXT-00102]環境エラーが発生しました。(Specified native messaging host not found.)」 が表示される。



■ 原因

調達ポータル・電子調達システムプラグインのインストールが完了していない可能性があります。

対処方法

使用するパソコンに調達ポータル・電子調達システムプラグインがインストールされているか、確認してください。 詳しくは、調達ポータル操作マニュアル『セットアップ編』の「プラグインと電子調達システム用プログラムをインストールする」 を参照してください。

現象:「セキュリティ警告」画面が表示される

電子調達システム用プログラムを起動すると、「セキュリティ警告」画面が表示される。

	セキュリティ警告	×
A	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストールしようと しています:	
	localhost	
	証明書が実際に "localhost" からのものであるかどうかを検証できません。 "localhost" に連絡して発行者を確認する必要があります。次の番号はこの過 程で役立ちます:	
	拇印 (sha1):	
	警告: このルート証明書をインストールすると、この CA によって発行された証明書は自 動的に信頼されます。確認されていない時印付きの証明書をインストールすること は、セキュリティ上、危険です。[はい] をクリックすると、この危険を認識したことにな ります。	
	この証明書をインストールしますか?	
	はい(Y) 「いいえ(N)

「セキュリティ警告」画面に表示される拇印の数字は毎回変更されるため、マニュアルに掲載されている画面と異なることがあります。

対処方法

「セキュリティ警告」画面が表示された場合は、 [はい] をクリックしてください。

セキュリティ警告画面で [いいえ] をクリックした場合、「予期せぬエラーが発生しました。」と表示されます。その場合は、 スタートメニューから電子調達システム用プログラムを再起動し、セキュリティ警告画面で [はい] をクリックしてください。

現象:[CLIENT-ERR-EXE-0033]が表示される 現象:[CLIENT-ERR-EXE-0043]が表示される

電子証明書を読み込むと、「[CLIENT-ERR-EXE-0033]環境エラーが発生しました。」または「[CLIENT-ERR-EXE-0043]環境エラーが発生しました。」と表示される。



電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の対処方法を実施してください。



■ 原因

電子認証ソフトでの証明書情報の取得に失敗している可能性があります。

- 複数の認証局のクライアントソフトがパソコンにインストールされている
- 認証局から提供されるクライアントソフトの設定が完了していない

対処方法

- 複数のクライアントソフトがインストールされている場合は、利用していない認証局のクライアントソフトをアンインストールしてください。
- クライアントソフトを1つしかインストールしていない場合は、クライアントソフトの設定が正しいか確認してください。クライアントソフトの設定については各認証局のホームページなどで確認し、解決しない場合は各認証局に問い合わせてください。

現象:「ポート9980の通信に失敗しました。」が表示される

「ポート 9980 の通信に失敗しました。すでに電子入札補助アプリが起動しているか、他のアプリケーションが使用している可能性があります。別のユーザーがログオン中の場合はログオフをしてから起動してください。」が表示される。



■ 原因

次の原因が考えられます。

- すでに電子調達システム用プログラムが起動している
- ネットワークのエラーが発生した
- 他のアプリケーションがポート番号 9980 を利用している

対処方法

電子調達システム用プログラムが起動しているか、タスクトレイを確認してください。



タスクトレイに電子調達システム用プログラムのアイコンが表示されている場合は、電子調達システム用プログラムは正常 に起動しています。

電子調達システム用プログラムは、初回はスタートメニューから起動する必要がありますが、パソコンを再起動したときは 自動で起動します。スタートメニューから起動する必要はありません。

タスクトレイに電子調達システム用プログラムが表示されていない場合は、次の手順で対応してください。

1 しばらく待ってから、電子調達システム用プログラムを起動します。

2 エラー画面が再度表示された場合は、パソコンを再起動します。

電子調達システム用プログラムは自動的に起動します。

■ パソコンを再起動してもエラー画面が表示される場合

他のアプリケーションがポート番号 9980 を利用している可能性があります。同一ポート(9980)を利用したアプ リケーションとは共存できませんので、下記のいずれかで対応してください。

- 他のパソコンを使用する
- 競合しているアプリケーションを停止する

現象:「サーバとの接続に失敗しました。」が表示される

「サーバとの接続に失敗しました。ブラウザーを閉じて始めから操作を行ってください。」が表示される。



電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の対処方法を実施してください。



■ 原因

電子調達システム用プログラムを初回起動する際に実施するファイアウォールの設定で「キャンセル」を選択した。

対処方法

ファイアウォールの設定を確認し、次の手順でブロックされている電子調達システム用プログラムを削除してください。 ※OS の管理者権限での実行が必要な操作がありますが、実行できない場合は、組織の PC 端末等の管理担当にお 問い合わせください。

コントロールパネルで「小さいアイコン」表示に設定し、「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。

🕺 すべてのコントロール パネル項目					
← → ✓ ↑ 🖾 > コントロール パネル → すべてのコントロール パネル項目					
コンピューターの設定を調整します					
♣ BitLocker ドライブ暗号化 🚺 Flash Player (32 ビット)					
Realtek HD オーディオマネージャ	🐻 RemoteApp とデスクトップ接続				
🔗 Windows Defender ファイアウォール	🏪 Windows To Go				
🔒 インデックスのオプション 🛜 インテル(R) PROSet/Wireless					

2 「詳細設定」を右クリックし、「その他」>「管理者として実行」をクリックして管理者権限で実行します。



3 「受信の規則」を選択します。



4 電子調達システム用プログラムを2つ選択し、右クリックします。



- 5 [削除]を選択し、[はい]をクリックします。
- 6 ファイアウォールの設定関連のウィンドウを閉じます。
- 7 タスクトレイから、電子調達システム用プログラムを終了します。
- 8 電子調達システム用プログラムを再起動し、ファイアウォールの設定画面で[アクセスを許可する]を

選択します。



現象:「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される

「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される。



電子調達システム用プログラムの初回起動時に、電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の項目をご確認ください。



- 原因
 - 電子調達システム用プログラムの初回起動時に、ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した。

対処方法1 ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した場合を参照してください。

電子調達システム用プログラムの初回起動時に、セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した。
 対処方法 2 セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した場合を参照してください。

ルート証明書ストアとセキュリティ警告のダイアログでそれぞれ「はい」を選択したにも関わらず、エラーが表示された 場合は、「1.2 "core_relay_sys.log"を確認する」を参照してください。

対処方法1 ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した場合

ルート証明	音ストア ×
	次の証明書をルートストアから削除しますか? サブジェクト: jp, jacic, ebid, localhost 発行者: 自己発行 有効期間:
	はいのいれた

次の手順で、「C:¥ユーザー¥ <インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥cert」フォルダー内の" CoreRelay.pfx"と".pki"を削除してください。

- 1 エクスプローラーを起動します。
- 2 エクスプローラーのアドレスバーに「C:¥ユーザー¥ <インストールユーザー名>
 ¥ebid¥CoreRelay¥cert」と入力し、エンターキーを押します。
- 3 エクスプローラーの表示タブで、「隠しファイル」にチェックを付けます。

□ □ = + 1 - f -						
ファイル ホーム 共有 表	示					
プレビュー ウィンドウ ナビゲーション ウィンドウ ・	 ■ 特大アイコン ■ 大アイコン Ⅲ 小アイコン ■ 一覧 ■ ゴンテンツ 	 ● 中アイコン ● 詳細 ▼ 	□ グルーブ化 □ グルーブ化 ① ① 列の追加 ☆べ替え ☆: ☆: すべての列のサイズを自動的に変更する	□ 項目チェックボックス □ コーイルタサモラ ■ 隠しファイル 選択した項目を 表示しない		
ペイン	レイアウト		現在のビュー	表示,非表示		
← → * ↑ - D → PC > D-DU ディスク(C) > ユ-ザ- > > ひ						

4 "CoreRelay.pfx"と".pki"を削除します。

ebid > CoreRelay > cert	~ Ū	certの検索	م
名前 ^		更新日時	種類
📄 .pki 🏂 CoreRelay.pfx		2020/02/19 12:43 2020/02/19 12:43	PKI ファイル Personal Info

- 5 電子調達システム用プログラムを再起動します。
- 6 ルート証明書ストアのダイアログで「はい」を選択します。
- 7 『Windows セキュリティの重大な警告』の画面が表示されたら、 [アクセスを許可する] をクリックします。
- 対処方法2 セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した場合



次の手順で、「C:¥ユーザー¥ <インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥cert」フォルダー内のファイルを全て削除してください。

- 1 エクスプローラーを起動します。
- 2 エクスプローラーのアドレスバーに「C:¥ユーザー¥ <インストールユーザー名>
 ¥ebid¥CoreRelay¥cert」と入力し、エンターキーを押します。
- 3 エクスプローラーの表示タブで、「隠しファイル」にチェックを付けます。



4 フォルダーを開きファイルが無いことを確認します。※ファイルがある場合は削除してください。

ebid > CoreRelay > cer	✔ O certの検索	م
名前 ^	更新日時	種類
📋 .pki 😼 CoreRelay.pfx	2020/02/19 12:43 2020/02/19 12:43	PKI ファイル Personal Info

- 5 電子調達システム用プログラムを再起動します。
- 6 ルート証明書ストアのダイアログで「はい」を選択します。
- 7 『Windows セキュリティの重大な警告』の画面が表示されたら、 [アクセスを許可する] をクリックします。

1.2 "core_relay_sys.log"を確認する

ルート証明書ストアとセキュリティ警告のダイアログでそれぞれ「はい」を選択したにも関わらず、エラーが表示された場合 は、エクスプローラーで「C:¥ユーザー¥ <インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥logs」フォルダー の"core_relay_sys.log"を確認します。

現象:「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの一部ではありません。」と記載されている場合

エラー発生時刻のログに、「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの一部ではありません。」の文言がある場合は、証明書が正しくインストールされていない可能性があります。 下記のレジストリキーの設定値を確認してください。

+-:

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Lsa¥FIPSAlgorithmPolicy 值:Enabled 種類:REG_DWORD 設定値:1

上記のように、設定値が「1」となっている場合は、グループポリシーで以下項目が「有効」になっている可能性があります。

場所:コンピューターの構成¥Windowsの設定¥セキュリティの設定¥ローカルポリシー¥セキュリティオプション ポリシー: [システム暗号化:暗号化、ハッシュ、署名のための FIPS 準拠アルゴリズムを使う]

対処方法

レジストリキーの設定値を初期値(0)に変更する、または、グループポリシーを「無効」に変更してください。

■ 下記のレジストリキーの設定値を「0」に変更する

+-:

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Lsa¥FIPSAlgorithmPolicy 值:Enabled

種類:REG_DWORD

- 1 タスクバーの検索窓に「regedit」と入力します。
- 2 結果の一覧から [レジストリエディター] (デスクトップアプリ)を選択し起動します。
- 3 管理者権限で実行します(利用環境で対処が許可されていない場合は、省内の PC 端末等の管理 担当に確認してください)。確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択します。
- 4 設定値を修正します。



5 レジストリエディターを終了します。

■ 下記のグループポリシーの設定を「無効」に変更する

場所:コンピューターの構成¥Windowsの設定¥セキュリティの設定¥ローカルポリシー¥セキュリティオプション ポリシー: [システム暗号化:暗号化、ハッシュ、署名のための FIPS 準拠アルゴリズムを使う]

🧾 ローカル グループ ポリシー エディター			-	x
ファイル(F) 操作(A) 表示(V) ヘルプ(H)				
🗢 🔿 📶 🗙 🗊 😖 🛛 🖬				
■ ローカル コンピューター ポリシー	ポリシー ^	セキュリティの設定		^
~ 👰 コンピューターの構成	🚳 Microsoft ネットワーク クライアント: サーバーが同意すれば、通信に	有効		
> 🧰 ソフトウェアの設定	闘 Microsoft ネットワーク クライアント: 常に通信にデジタル署名を行う	無効		
✓ Mindows の設定	📓 Microsoft ネットワーク サーバー: S4U2Self を試行して要求情報を	未定義		
>	脳 Microsoft ネットワーク サーバー: クライアントが同意すれば、通信に	無効		
(二) スクリフト (スタートアッフノンヤットタワン)	闘 Microsoft ネットワーク サーバー: サーバー SPN ターゲット名検証レベル	未定義		=
> 時間 成果されにノックノー	闘 Microsoft ネットワーク サーバー: セッションを中断する前に、あるー	15 分間		
→ □ アカウント ポリシー	闘 Microsoft ネットワーク サーバー: ログオン時間を超過するととクライア	有効		
✓ 🔂 ローカル ポリシー	闘 Microsoft ネットワーク サーバー: 常に通信にデジタル署名を行う	無効		
> 📴 監査ポリシー	IIII アカウント: Administrator アカウントの状態	無効		
> 📴 ユーザー権利の割り当て	I IIII アカワント: Administrator アカワント名の変更	Administrator		
> 📴 セキュリティ オプション	図 アカワント: Guest アカワントの状態	無効		
> 📔 セキュリティが強化された Windows Defender ファイアウ	⑩ アカウント: Guest アカウント名の変更	Guest		
🚞 ネットワーク リスト マネージャー ポリシー	□ 図 アカウント: ローカル アカウントの空のハスワートの使用をコンワール ロク	有効		
> 🦲 公開キーのボリシー	lig) アカウノト:Microsoft アカウノトをノロックする	本止義		
> <u>ソフトウエアの制限のパリシー</u>	「「「シスノムオノジェント・windows シスノムではないリアシスノムのため…」	11 20 方动		
> (目) セキュリティ ポリシー (ローカル コンピューター)		-n xu		
> 🕒 計画者ポリシーの詳細な構成				
→ ポリシー ベースの QoS		777777		
> 📫 管理用テンプレート		無効		
◇ 🕵 ユーザーの構成	3 シャットダウン: システムのシャットダウンにログオンを必要としない	無効		
> 📫 ソフトウェアの設定	 闘 シャットダウン: 仮想メモリのページ ファイルをクリアする	無効		
> 🧾 Windows の設定		未定義		
> 🧰 管理用テンフレート	闘 デバイス: フロッピーへのアクセスを、ローカル ログオン ユーザーだけに制	未定義		
	📖 デバイス: ユーザーがプリンター ドライバーをインストールできないようにする	無効		
	🖾 デバイス: リムーバブル メディアを取り出すのを許可する	未定義		
	🖏 デバイス: ログオンなしの装着解除を許可する	有効		
< III >		未定義		~

利用環境で上記の対処が許可されていない場合は、組織の PC 端末等の管理担当に確認してください。

現象:「アクセスが拒否されました。」と記載されている場合

ログに「アクセスが拒否されました。」の文言がある場合は、電子調達システム用プログラム初回インストール時に必要な ルート証明書のインストールが拒否されている可能性があります。

対処方法

- クライアントソフトを1つしかインストールしていない場合は、クライアントソフトの設定が正しいか確認してください。クライアントソフトの設定については各認証局のホームページなどで確認し、解決しない場合は各認証局に問い合わせてください。
- ルート証明書をインストールしても改善されない場合は、OS、ブラウザーのバージョンを確認し、調達ポータル・電子 調達システムヘルプデスクへ問い合わせてください。

1.3 ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアする

画面が正常に表示されない、読み込みに時間がかかる場合は、ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアしてください。

※キャッシュとは、直近で読み込んだデータを、一時保存しておく機能です。

※Cookieとは、IDやパスワードなどのユーザーのユニーク情報を一時保存しておく機能です。

1.3.1 Microsoft Edge のキャッシュおよび Cookie をクリアする

- 1 ブラウザーの右上の[・・・]アイコンをクリックし、[設定]を選択します。
- 2 左側のメニューで [プライバシー、検索、サービス] をクリックします。
- 3 「閲覧データをクリア」の[クリアするデータを選択]をクリックします。



4 「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェック します。

別覧データをクリア ×					
時間の範囲					
過去 1 時間	~				
閲覧の履歴 13 個の項目。アドレス バーにオー	トコンプリートが含まれています。				
クウンロードの履歴 なし	ダウンロードの履歴 _{なし}				
Cookie およびその他のサイ 15 個のサイトから。ほとんどのサイ	 Cookie およびその他のサイトデータ 15 個のサイトから、ほとんどのサイトからサインアウトします。 				
✓ キャッシュされた画像とファイル 199 MB 未満を解放します。一部のサイトでは、次回のアクセス時 に読み込みが遅くなる可能性があります。					
同期がオフになっています。同期をオンにすると、このデータは ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ しゃくレインしている同期されたすべてのデバイスで消 去されます。このデバイスからのみ閲覧データを消去するには、最初にサインア ウトに移動します。					
今すぐクリア キャンセル					

「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」以外の項目にチェックが入ってい

る場合はチェックを外します。

- 5 [今すぐクリア] をクリックします。
- 6 Microsoft Edge を再起動します。
- 1.3.2 Google Chrome のキャッシュおよび Cookie をクリアする
 - 1 ブラウザーの右上の [:] アイコンをクリックし、 [その他のツール] から [閲覧履歴を消去] を 選択します。

Click edit and create you	ır own amazing web		新しいタフ 新しいウィ 新しいシー	r ンドウ ・クレット	ウィンド	ΰġ	Ctrl+	Ctrl+T Ctrl+N Shift+N	
			履歴 ダウンロー ブックマー:	ド ク				Ctrl+J	•
			ズーム		-	100%	+	53	_
			印刷 キャスト					Ctrl+P	
			検索					Ctrl+F	_
名前を付けてページを保存	Ctrl+S		その他の	ノール					•
ショートカットを作成			編集	切り	取り	שצ-		貼り付け	
ウインドワに名前を付ける			設定						
閲覧履歴を消去	Ctrl+Shift+Delete		ヘルプ						۶
拡張機能 パフォーマンス New			終了						_
タスク マネージャ	Shift+Esc	₽	組織によ	て管理	อ่กาเ	\ます			
デベロッパー ツール	Ctrl+Shift+I	-		_			_		Ī

2 「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックします。



「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」以外の項目にチェックが入っている場合は チェックを外します。

- 3 [データを削除] をクリックします。
- 4 Google Chrome を再起動します。

2. メッセージー覧

政府電子調達(GEPS)で表示される主なメッセージです。

※表内の {} は変数を表します。

例)埋め込み文字が右記の場合… {0}調達実施案件の登録 {1} 完了{0}が {1}しました。→調達実施案件の登録が完了しました。

2.1 通知メッセージ

メッセージ	埋め込み文字例	説明
一時保存しました。	-	[一時保存] をクリックすると表示されま
		す。
{0} が {1} しました。	{0} 契約案件の登録	「完了」画面に表示されます。
	{1} 完了	

2.2 エラーメッセージ

メッセージ	埋め込み文字例	説明
無効登録されている為、確認できません。	-	権限チェックのエラー内容が表示されます。
資格がない又は見積依頼先ではない為、	-	権限チェックのエラー内容が表示されます。
確認できません。		
資格が無い為提出できません。	-	権限チェックのエラー内容が表示されます。
委任権限がありません。	_	権限チェックのエラー内容が表示されます。
認証に失敗しました。	_	権限チェックのエラー内容が表示されます。
表示するページに対して権限がありませ	-	権限チェックのエラー内容が表示されます。
ん。		
辞退している為、確認できません。	_	状態チェックのエラー内容が表示されます。
締切日時を過ぎている為提出できません。	_	状態チェックのエラー内容が表示されます。
本調達案件への質問回答期限は過ぎて	-	状態チェックのエラー内容が表示されます。
います。		
該当する検索結果が見当たりません。検	_	検索エラーの内容が表示されます。
索条件を変えてもう一度検索してくださ		
い。		

メッセージ	埋め込み文字例	説明
検索結果が {0} 件を超えました。	{0} 200	検索エラーの内容が表示されます。
検索条件を見直して、再度絞り込みをし	-	検索エラーの内容が表示されます。
てください。		
検索条件に適合する事業者は、既に登	-	検索エラーの内容が表示されます。
録されています。		
ファイルのサイズが大きすぎます。	-	ファイルチェックのエラー内容が表示されま
サイズの小さいファイルを添付して、再度処		す。
理を行ってください。		
{0} は {1} 件以上設定してください。	{0} 資格情報	入力値チェックのエラー内容が表示されま
	{1} 1	す。
入力された {0} が {1} のとき {2} が	{0} 資格種類	入力値チェックのエラー内容が表示されま
入力されていません。	{1} 工事、又は測量・建設コンサルタン	す。
	F	
	{2} 府省·部局等	
{0} してください。	{0} 有効期間(開始年度)は4桁の	入力値チェックのエラー内容が表示されま
	数字を入力	す。
{0} が入力されていません。	{0} 契約番号	入力値チェックのエラー内容が表示されま
		す。
{0} には {1} から {2} までの範囲で	{0} 契約番号	入力値チェックのエラー内容が表示されま
入力してください。	{1} 1	す。
	{2} 9223372036854775807	
{0} は {1} 内の期間を設定してくださ	{0} 落札日	入力値チェックのエラー内容が表示されま
し)。	{1} 6ヵ月	す。
{0} は {1} 以降の日付を入力してくだ	{0} 落札日(至)	入力値チェックのエラー内容が表示されま
さい。	{1} 落札日(自)	す。
{0} には yyyy/mm/dd の形式で入	{0} 開札日時	入力値チェックのエラー内容が表示されま
カしてください。(例)2002/01/01		す。
{0} が未入力です。{0} を入力してく	{0} 回答	入力値チェックのエラー内容が表示されま
ださい。		す。
{0} が不正です。	{0} 入札数量	入力値チェックのエラー内容が表示されま
		す。
該当案件の指名事業者ではないため、ダ	-	該当案件の指名事業者以外が、調達資
ウンロードできません。		料一式をダウンロードしようとしたときに表示
		されます。
システム内部エラーが発生しました。システ	-	何らかの原因でシステムにエラーが発生し
ム管理者に連絡してください。		た場合に表示されます。
不正な操作が行われました。お手数ですが	-	何らかの原因でシステムにエラーが発生し
一旦画面を閉じ、ポータルサイトより再度		た場合に表示されます。
操作を行ってください。		
処理の受付が終了しませんでした。再度、	-	何らかの原因でシステムにエラーが発生し
同じ処理を実行してください。		た場合に表示されます。

改訂履歴

版	改訂日	内容	備考
1.0	令和6年1月4日	初版作成	
1.1	令和6年8月11日	表現の修正	